

市民会議 ~ グループワーク「前文に盛り込みたい思い、キーワード、提案」途中経過

第7回から第10回のグループワークで話し合われた「前文」に関するグループワークの途中経過です。
現在は、STEP2の分科会の途中段階ですので、今後、他の意見が追加・検討されていくこともあります。

すべて平易に!!
安城の姿を
読めば解るように創る
= 伝統と文化
178,000人が解るよう

① グループ ② グループ ③ グループ ④ グループ

誇り・財産

自然環境	自然環境 豊かな安城 田んぼ、緑	市 の 歴 史 、 文 化 、 環 境 や 自 治 の 取 り 組 み	田園風景 緑道 皇居と同じ位の面積がある緑豊かな街、安城市 安城市風景 いちじく 梨畑 子ども育てる自然環境	田園風景 緑道 湖川 水 環境 災害が少ない
	先人が培ってきた歴史・文化 安城の歴史と風土 安城の誇り、歴史 前文に歴史はある？ いない？ いない しばらく必要ない いる 生きている背景 明治用水スピリッツ うけつぐ			
農・工・商	農業社会の発展 商農工のバランス	「郷土を愛し」	わたしたちの町安城市は、これまで培ってきたかけがえのない 多様な地域性 を生かし合いながら、 都市と農業が共生するまちづくり を進めています。	農業 農工商のバランス → 伝統と文化
気質・精神	風土や人の心 明治用水の開拓精神		共同共生の精神 進取の気風 私たちは、先人たちの 「進取の気風」「共に働き共に栄える精神」 を次の時間に引き継がなくてはなりません。 進取の気風 共同の精神 はある。特長と言える。地域社会を今後支えていく 交通が便利	共同共生の精神 → フロンティアスピリット 行動力のある市民 勤勉実直 前向き やさしい
豊かさ				豊か 交通 施設の充実
地域社会				古い集落と新しい町の共存 地域の結びつき
住みやすさ				住みやすい 子育てしやすい
その他	市民主体のまちづくり	誇り	私たちが暮らす安城市は、安城ヶ原といわれた碧海台地を、先人の英知と開拓者精神によって、明治用水が開通し農業の先進地となり、近年は農地のほ場整備と道路網等の都市基盤の充実とあいまって、製造業・流通業が発展して、毎年人口の増加が続いています。	

㊦ グループ

㊨ グループ

㊩ グループ

㊪ グループ

実現したい地域社会(わたしたちの願い、めざすまちの将来像)

願い	心豊かなまち 温もりに満ちたまち 健康で暮らせる町	幸せを感じる 調和 平和	愛 きずな 信頼		住みたい町、ほこりのもてる町にしてゆく
農工商の バランス	安城の成長の限界 人口と農・工・商のバランス			農工商調和のとれた街 恵まれた田園と自動車関連企業と共生する町づくり 農工商の調和のある町	農工商バランスのとれたまちづくり
安心・安全	安心・安全なまち 安全で住みやすい町(交通、犯罪)	安全安心 安全で安心して暮らせる社会の実現をめざし、住みやすい(安心・安全)まちづくり 教育委員会条例 担当者を選出し、犯罪の防止と学生の安全に努める 安全な食糧の自給の出来る町		安心・安全なまち 後世の人々に「安心して住める」と思わせたい 未来に向かって...子どもを育てるという気持ちが安心安全なまちにつながる	安心安全な街 安全で安心してすみよい町づくりを進める 少子高齢化社会における安全・安心
未来へ向かって	誇り・財産を次世代に引き継ぐ、守り育てる 住み続けたいまち 住み続けたいまちづくり 持続可能な社会 未来への引継ぎ 過去から受けついだ宝(豊かなもの)を育て、未来に橋渡しする 子供が夢をもてる町	将来に向かって 未来への広がり		人間が変わってる。昔の良い所を残す必要がある	
地域社会の充実	活気に満ちた地域社会 地域社会の充実 市民一人一人が共生と共助の気概を育む 住む喜びが実感できるまちづくり 地域主権社会			地域が大切にしたいことを盛り込んでいく必要がある	
助け合い つながり		高齢者のたすけ合いの出来る町づくり		共に働き共に栄える 障害者などがかきねをこえてつながる 働いている人、外から来た人も大事にしたい 市民の共有共感のある町	各世代の交流を促進すること
誰もが住みよく				こどもの豊かな個性を尊重し わたしたちの住むまち安城市は...これからも 子どもから高齢者までの誰もがまちづくりの担い手となって...	子どもから高齢者・外国人が市民としてすみよい町づくりを担う
自然を守る					豊かな自然環境 農業を守る 緑を守る 水を守る 次世代に伝える環境 どんな町にしたいか みどり一杯(大きな樹がほしい)
情報の発信 共有					開かれた社会(情報共有) 情報発信が自由に出来る、わかりあえる社会 づくり
その他	安城をどうしたい?	自転車条例 保険制度の加入自転車に掛ける市の補助検討		市民が生活を第一に考えた発展を続ける 私たちは人々のたゆまぬ努力と協働の精神により発展してきたこのまちを、水とみどりが豊かで安心して暮らせるまちとして、次の世代に引き継ぐために、市民自ら力を合わせ努めていかなければなりません。 環境首都安城にふさわしいまちづくり	

を
発
展
さ
せ
た
新
た
な
自
治
の
か
た
ち
や
市
の
あ
る
べ
き
姿

㊦ グループ

㊨ グループ

㊩ グループ

㊪ グループ

自治の理念(めざす自治、自治体像)実現のために必要なこと

参画と協働	参画 協働 地方自治への参画 新しく入った人と昔からいる人との協働 市民・行政・議会三者の協働	その実現には、市民の主体性や参加と共に自治の関係者の協働が重要であること	協働で「安城市」をつくる 住民が互いに協力しあい	協働 によるまちづくりを推進し、 自立 した地域社会の実現を目指すことを自治の基本理念におき、ここに安城市まちづくり基本条例を制定します。	市民・行政等の協働を強くうたう 市民・行政・議会が 共に進めるすみよい町づくり		
自立・能動的	市民ひとりひとりが自ら考え、行動する「自治」が基本 主権者である市民の自主・自立 自立		自立			能動的 市民の自主・自立	能動的自治 市民が主体となる能動的自治ができる町 市民一人ひとりが自立して、自治を実現する
助け合い	自助 自助努力 自助・共助・公助の心構えを挿入		地域の連帯(町内会で、自治会で)			自助・共助・公助 安全安心なまちのために助け合い、支え合い、つながる、ともに栄える 自助・共助・公助 今これが問題 安城市内でも差がある。 どう位置づけるか？	
役割と責任	役割と責任の分担 自己責任		市民が自治を自覚して行動			役割と責任の分担	市民が自治を自覚して行動 透明性・説明責任など 市民・行政・市長が、役割を分担し責任をはたす 自覚 社会的責任を自覚し、力を合わせる 市民自治
市民が主役	市民主権の地方自治の原則を定め、住みよい町づくり 市民主権 自立・自己責任・自助努力 情報の共有化					ここに 市民主体 の…自治基本条例を制定します。 逆ピラミッド 主体的な市民	両方向の情報発信 市民も、行政も、情報を発信し、協力し合う
周知徹底	自治条例の周知徹底 情勢・地方分権・規制改革					ひとりひとり 議会	
その他			市議員条例 市会議員の総数の2割は女性とする			人と人とのつながりを育む そのためには市民一人ひとりが自由な意思で、主体的にまちづくりにかかわることが大切です。 私たちは、人権を尊重し、自然環境を育み、楽しく幸せに暮らせるまちづくりを目指し、市民と市・市議会が協同して自治を推進する安城市基本条例を制定します。	安城独自の自治の精神

こんな条例にしたい

わかりやすく	分かりやすい言葉で あいまいな美辞麗句はイヤだなあ	制定する意義や決意		すべて平易に 小学校の教材にもできるように、子どもにも理解できるように 安城の姿を、読めば解るように創る ≡ 伝統と文化 178,000人が解るよう 前文で安城市が理解できるもの 基本理念 前文or本文 人権の尊重、住民自治に基づく 住民福祉の増進
その他	最高規範 基本条例 = 憲法 自らの責任に於いて市民が1人1人行動し、市民活動に参画できる条例 以降 総則 理念・目的・用語の定義		次の世代へ引き継ぐため 子どもたちも参加 将来につながる	